

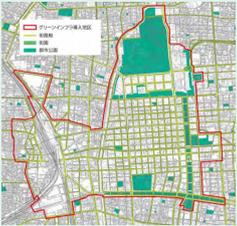
会員より ～ グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します！ ～

■ 都市計画・まちづくりにおけるグリーンインフラの導入に向けて

村山 顕人（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻【企画・広報部会 幹事】）

グリーンインフラを都市計画やまちづくりの中で整備していくための実務や研究に取り組んでいます。

● 自治体のマスタープランにおけるグリーンインフラの位置づけ



- 改定作業に参加した「名古屋市緑の基本計画2030（2021年3月）」では、みどりの多面的効果（観光、景観、活力、交流、子育て・教育、健康・福祉、環境、危機管理の「8K」）を発揮する横断的な施策展開の1つに「グリーンインフラの取り組みの推進」を位置づけました。
- 今後、グリーンインフラの基本方針や導入計画（地区設定、指標等）が検討され、市街地における雨水流出抑制、暑熱対策、生物多様性保全等に貢献します。

導入地区イメージ

詳細はこちらから ▶▶▶ [「名古屋市緑の基本計画2030」](https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-3-2-0-0-0-0-0-0.html)
(<https://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-3-3-2-0-0-0-0-0-0.html>)

● 地域の土地利用・市街地環境への気候変動影響予測と持続的再生方針の検討と評価



気候変動影響予測・
適応評価の総合的研究
(2020～2024年度)

- 将来的な気候変動に伴って見込まれる都市環境の高温化、風水害の激甚化などが地域の土地利用・市街地環境へ及ぼす影響を予測し、それらに適応するための複数のシナリオ（持続的再生方針）を検討・評価します。

- シナリオの中には、都市スケールおよび地区スケールのグリーンインフラの導入を含める予定ですが、まずは影響予測や適応評価を可能とするモデルを検討中です。

詳細はこちらから ▶▶▶ [「研究プロジェクト・ウェブサイト」](https://s-18ccap.jp)
(<https://s-18ccap.jp>)

■ SROI（社会的投資収益率）を活用した参加型マネジメント手法の紹介

今井 稔（一般社団法人建設コンサルタンツ協会【技術部会 幹事】）

当協会の参加型計画専門委員会では、欧米で社会的活動の評価に用いられてきたSROI(社会的投資収益率)の考え方に着目し、多様化する市民参加型まちづくりのマネジメントへの適用を検討してきました。SROIは社会的活動の価値を可視化しながら、その活動をマネジメントする手法です。今後、グリーンインフラ活動（維持管理等）のマネジメントツールとしても活用が期待できます。

● 「シーニックカフェちゅうるい」活動での試行

- 「シーニックカフェちゅうるい」は、忠類共栄牧場内の小高い丘に設置され、雄大な日高山脈や十勝平野を楽しめるカフェで、地域ボランティアにより運営されています。この取り組みを題材に、実施された活動(インプット)、その活動の成果(アウトプット)、更にそこから得られた波及効果(アウトカム)に基づき「インパクトマップ」を作成し、最終的にSROI値の算出を行いました。これら一連の検討にあたっては、各段階でのヒアリング、ワークショップや報告会を通じて、ステークホルダー間の合意が図られています。



WSによるインパクトマップの作成

- SROIは、当該事業にかかわるステークホルダーを設定し、彼らが達成を目指すアウトカムを社会的価値として、貨幣価値換算し評価します。その評価に基づき、個々の投資や活動の見直しを行っていくことから、ステークホルダー間での合意形成が重要なポイントとなります。

- 今回のSROIの試行を通じた、過去の活動の評価から将来の活動へ展開させた一連の流れは、まちづくり活動のPDCAツールにもなり得ることから、活動の社会的価値のマネジメント手法としての可能性が確認できました。

*SROI値(%) = 一定期間の社会的成果 ÷ 投下された資源額

詳細はこちらから ▶▶▶ info@icca.or.jp までお問い合わせください

プラットフォームより

■ 会員情報

1117人・団体 (2021年5月31日時点)

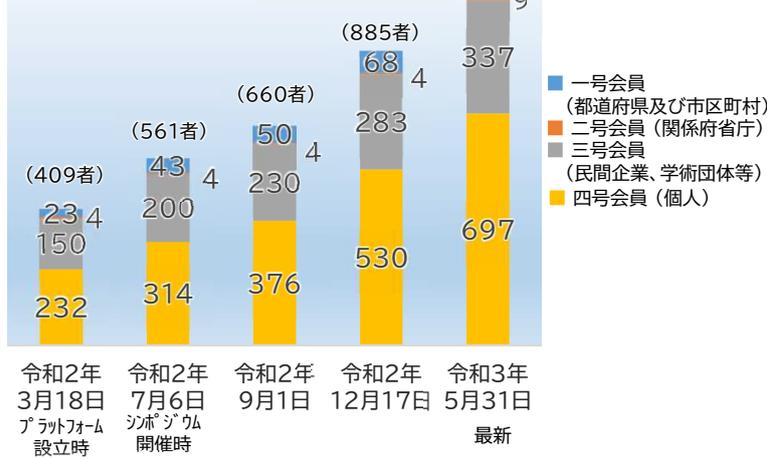
● 新たな一号会員

- ・大阪府 大阪狭山市

● 新たな三号会員 (民間企業、学術団体等)

- ・株式会社プラネット
- ・株式会社日建設計
- ・エコ合同会社

● 会員数の推移



TOPICS ①

グリーンインフラの取組が「国交白書2021」「令和3年版水循環白書」に掲載されました！

・ 国交白書2021



自然共生のための国土交通省の取組として、「グリーンインフラの推進」について国交白書に掲載されました。
 「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」についても言及され、プラットフォームの取組の一つとして「グリーンインフラ大賞」が紹介されています。

掲載箇所：国交白書2021
 第3章第1節 (P129)

詳細はこちらから ▶▶▶ 「令和3年版国土交通白書」
<https://www.mlit.go.jp/statistics/file000004.html>

・ 令和3年版水循環白書

令和3年6月15日に「令和2年度水循環施策」(令和3年版水循環白書)が閣議決定されました。
 「水循環基本計画」に盛り込まれている施策について令和2年度の取組状況が報告されており、「グリーンインフラの推進」についても記載されています。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「水循環白書の概要」
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/mizu_junkan/pdf/r02_mizujunkan_gaiyou.pdf

TOPICS ②

13自治体連携による「多摩・三浦丘陵の市民と緑をつなぐシンポジウム」が開催されます！

○官民連携による新たなプラットフォームの構築を目的とし、グリーンインフラやSDGsを意識したサミットトークが実施されます。

日時：2021年7月3日(土) 14:00~17:00

参加方法：YouTube ライブ配信 

(右のQRコードよりアクセスください。)

パネリスト：涌井 史郎氏/相模原市市長/
 日野市副市長/多摩市市長/稲城市市長/
 鎌倉市市長/川崎市市長/(株)良品計画/
 (株)スノーピーク/国土交通省/環境省 (順不同)

主催：多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議

詳細はこちらから ▶▶▶ 「多摩・三浦丘陵トレイル」
<https://www.tama-miurahills.com/>

人物紹介

※グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します



もりい やすひろ
森井 康裕 出身：神奈川県
 国土交通省
 都市局 都市政策課
 課長補佐

皆様、はじめまして。愛知県庁より出向でこの4月にやって参りました森井でございます。名字からしてすでに緑に溢れている私ですが、グリーンインフラの普及・推進に貢献し、緑溢れる都市空間をつくりたいと思っております。よろしくお願いいたします。

随時会員募集！ (登録無料)

団体でも個人でも登録可能です。
是非左記サイトからご登録をお願いします！

 **新規登録** はこちらから

プラットフォーム専用サイトへ <https://gi-platform.com/>